



No.5
令和6年
6月議会

大垣市議会議員

本田ゆみこ 市政報告

今回、子ども施策を中心に5件質問しました。

子どもの安心安全に繋がる支援について(質問要旨)

- ・子どもの居場所づくりモデル事業の現況と方向性について
- ・新規に居場所を始めたい団体、居場所実施団体への補助金以外の支援についてどのように考えていますか。
- ・子どもの権利条例策定についてどのように考えていますか。

答 弁 (石田市長)

- ・11団体に93万5930円の補助をしました。
- ・来年度は、実施団体や大垣市子どもの居場所づくり懇談会での今後の支援について検討を進めています。
- ・意見交流会を定期的に開催し、情報交換やネットワークづくりの支援に努めます。新規団体には、事業着手にかかる伴走支援に努めています。
- ・子育て条支援例の中で、子どもの権利の明確化をしていきます。

2回目質問要旨

子育て支援条例の一部改正ではなく、子ども自身が自分には権利があるということを知る機会、自分たちの社会は自分たちでつくるという機会にもなるので、子どもの権利条例を子どもたちの声でつくっていきけるようにしたいと考えますが、子どもの権利条例をつくるということについてどう考えますか。

答 弁 (石田市長)

子育て支援条例の中で、子どもの権利を明確化します。令和6年度中に子どもの意見交換、子育て支援会議等で審議、パブリックコメントを実施します。令和7年3月議会を経て、令和7年4月に施行の流れになります。

小中学校給食費と教材費無償化について(質問要旨)

- ・物価高騰の中、学校教育にかかる保護者への負担は大きいです。
- ・小中全学年で給食費無償化をしてはどうですか。
- ・保護者の教育費負担軽減として、ドリルや習字道具、リコーダーなどの教材費無償化にしてはどうですか。

答 弁 (平松教育委員会事務局長)

- ・学校給食法の第11条に基づいて給食にかかる年間経費16億の内、運営にかかる部分9億を公費負担、7億の食材費を保護者負担としています。
- ・負担軽減として、国の交付金により、R4年度3か月分無償化、R5年度改定増額分を公費負担、R5、6年度学校給食会計赤字補填をしています。
- ・補助教材費の無償化は考えていないが、教材の在り方として、保護者の負担も考え各学校に指導をしていきます。

2回目質問要旨

小中学校の給食費については、大垣市の予算で言えば1%強です。また、学校(文部科学省)という縦割りで考えるのではなく、子どもの食の権利の保障として横との繋がりによる無償化に向けた手立てがあっていいと考えます。

答 弁 (平松教育委員会事務局長)

国の動向を注視していきます。

給食費無償化は全国で3割程度の自治体で実施されているよ。近隣市町村では、池田町、垂井町、神戸町、損斐川町、同じ規模の神奈川県海老名市では、令和6年度からすべての小中
学年で教材費無償だよ。



小中学校体育館(屋内運動場)エアコン設置について(質問要旨)

- ・夏季の体育授業時や災害時の指定避難所における熱中症対策としてどう考えていますか。以前の質問で、災害対策からの面ではプッシュ型での対応、教育の面からは研究中とのことでしたが、研究状況についてどうなっていますか。
- ・小中学校屋内運動場へのエアコン設置の早期設置要望をします。

答 弁 (平松教育委員会事務局長)

- ・体育授業時の熱中症対策として、R2年度全小中学校に導入した大型扇風機での対応とこまめな水分補給に取り組んでいます。災害時も同様の取組となります。長期間に及ぶ場合は、国のプッシュ型支援で対応します。
- ・平常時におけるランニングコスト、災害時の動力の確保比較検討や、建物への負荷等について課題整理に努めています。

学びの保障について(質問要旨)

- ・本市の不登校支援策について教えてください。
- ・不登校支援のとまり木教室の現況について
- ・校内フリースペースについてはどうですか。
- ・フリースクールに通っている児童生徒への助成についてはどうですか。

答 弁 (細江教育長)

- ・ほほえみ相談員24人配置しています。
- ・今年度4月より相談室を校内教育支援センターとし、きめ細やかな対応に努めている。
- ・ほほえみ教室のほかに、とまり木教室をスタートさせました。
- ・仮想空間を利用した支援を検討しています。
- ・西濃学園と連携して、教員研修や指定校での実践で教員のスキルアップを図っています。
- ・とまり木教室は、5人の児童が利用しています。問い合わせは12件あり、新たな居場所となりつつあると捉えています。
- ・生徒指導相談員を教育研究所から派遣しています。
- ・ほほえみ教室やとまり木教室の利用を促していくため、フリースクール利用者への助成は考えていません。

大垣市の不登校児童生徒は400人超え。登校渋りや仮面登校者など、心理的安全が確保された状態で学びを得られていない児童生徒を含めればもっと多くの子どもが学びの機会を十分に保障されていない状況にあるよ。



児童館の増設について(質問要旨)

- ・地区センター、南部子育て支援センター及び既存公共施設を活かして児童館機能を持たせるのはどうですか。
- ・国の補助金を活用して児童館を整備してはどうですか。

答 弁 (毛利こども未来部長)

- ・地区センターを活用した居場所づくりや支援をしている大垣公演でのプレーパーク、サイエンスプラザやデジタルひろばなどの体験遊びの場の提供をしています。

2回目質問要旨

なぜ、国は改正児童館ガイドラインをつくられたと思われませんか。国は子ども居場所としての整備にかかる費用として、3分の1から2分の1に補助金を高上げしています。なぜ、国の補助金が出るのを利用して児童館を整備しないのですか。

答 弁 (毛利こども未来部長)

- ・児童館福祉法に基づく児童館整備については考えていないですが、常時利用可能な居場所の検討も行っています。



昨年の夏は30度以上の真夏日、35度以上の猛暑日の記録を更新しました。気象庁の6月から8月の3か月予報で、高温傾向が続き、今年も暑さの厳しい夏となる予想で、平均気温が平年より高いとなっています。体は資本の一部です。健康な体、丈夫な体、よりよい発達を促していくための体づくり、人生の土台となる体をつくっていくのに大切な小中学生時代に、より安全な環境の中で体育の授業を実施できるためにもエアコン設置は重要度が高いと考えます。

災害は時期を選ばずに来ます。自宅以外での避難生活になった場合、避難生活から日常に戻れるまでにどのくらいかかるのかは分かりません。事実、能登地震から5か月が経ちますが、1次避難所で避難している方の人数は5月28日時点で1736人と報道道でありました。平時に環境を整えておくことが、子ども達にも地域住民にとっても安全安心を保障できると考えます。

私の本会議の一般質問をご覧ください

◆大垣ケーブルテレビ放送 11ch

このチラシを見ながらご視聴ください。

◆6月19日(水) 14:30頃～登壇予定

YouTube配信が始まります。

◆6月22日(土) 9:30頃～登壇予定

6/24頃からスタート(遅れる場合があります)

市政報告会 6月23日(日)13時～14時
オカサンホテル1階西事務所

皆様のお声を
ぜひお聞かせください。

ホームページはこちら

Eメールはこちら

